

情報セキュリティと情報モラル

成績処理の時期は情報セキュリティ事故に注意！

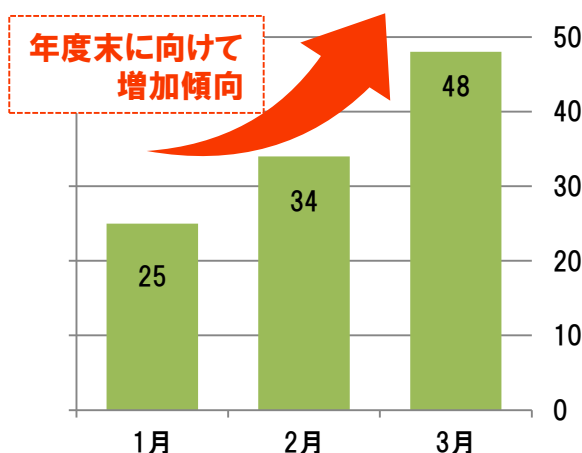
情報セキュリティ事故の傾向

3学期は子どもたちの成績や進路の資料など個人情報を扱う機会が増える時期。そのため、情報セキュリティ事故は年度末に向けて増加傾向にあります。

学校や子どもたちの大切な情報を守るために、情報セキュリティ意識の啓発を図りましょう。



3学期の情報セキュリティ事故発生件数 (平成22～24年度の月ごとの合計件数)



教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会(ISEN)調べ



実際に3学期に起きた事故

事件事例 ① いつもの場所に置いたはずの通知表が...

東京都の市立小学校で、教諭が担当するクラスの児童の通知表を紛失し、29件の個人情報の漏えいがあったことがわかった。保管場所となっている職員室の鍵付きロッカーを確認したところ、通知表がないことに気づいたという。(2012年1月16日)

事件事例 ② 生徒の進路資料がない！

香川県の市立中学校で、公立高校の一般入試に使用する調査書と願書の情報が入ったUSBメモリを紛失し、223件の個人情報の漏えいがあったことがわかった。USBメモリには、パスワードがかけられていなかった。(2010年2月15日)

参考:情報セキュリティ事故ニュース | 学校情報セキュリティお役立ちWeb 今日もワンステップ! by ISEN
(<http://school-security.jp/leak/>)



情報セキュリティ事故を未然に防ぐため、子どもたちの重要な情報の「**保管ルール**」の周知徹底」「**保存媒体へのパスワード設定**」「データの**暗号化**」といった対策を検討しましょう。

ソーシャル時代の情報モラルと学校ネットパトロール

インターネットの利用実態が大きく様変わりしている昨今、情報モラル教育のあり方も見直す必要があります。

文部科学省はインターネットでのトラブルから子どもたちを守るための有効な方策として、**学校ネットパトロール**を薦めています。

▼内閣府の調査では、インターネットを使っている小中高校生の9.5%がWebサイト上で見知らぬ人とやりとりをしていることが報告されています。また、プロフなどに自分や他人の個人情報を書き込んだり、インターネット上で知り合った人と会ったことがある子どもも、毎年一定数いることがわかっています。

参考:内閣府『平成23年度青少年のインターネット利用環境実態調査(平成23年10月)』

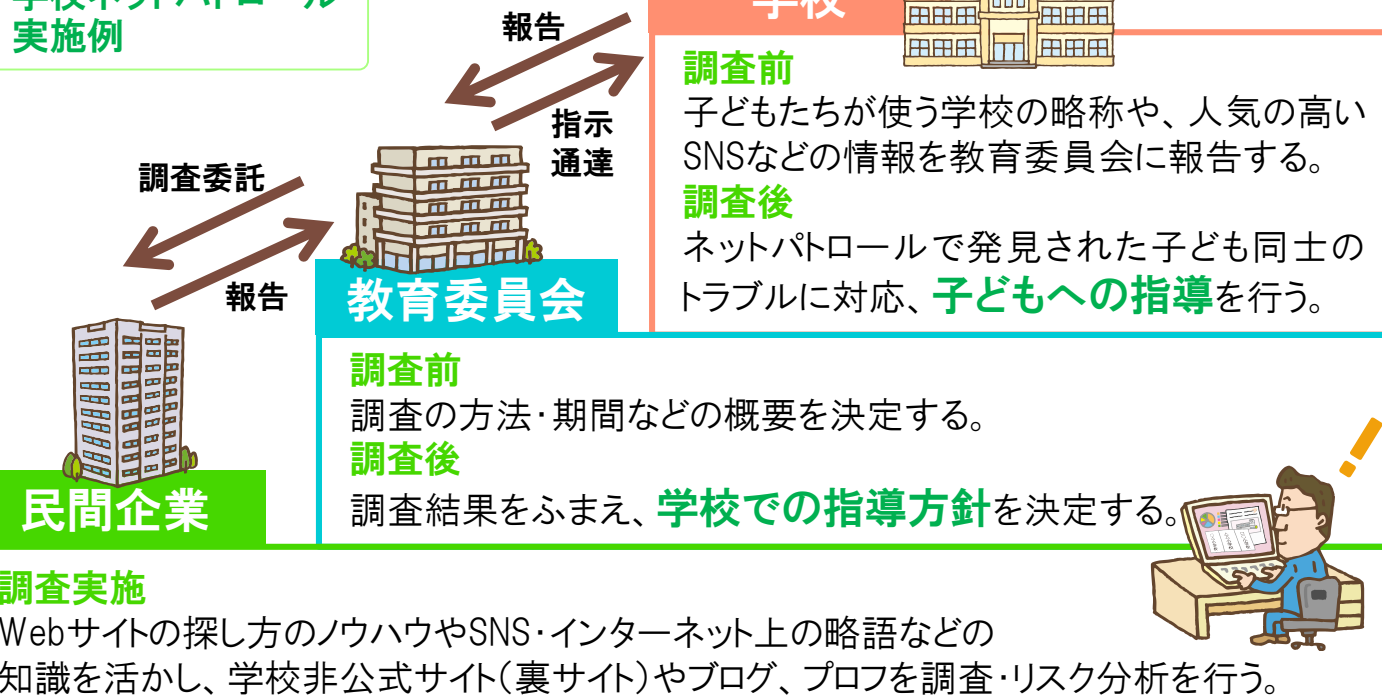
学校ネットパトロールとは・・・

学校ネットパトロールは、学校非公式サイト、ブログ、プロフ等に、誹謗中傷の書き込みなどが行われ、「ネット上のいじめ」等が起きていないかチェックし、学校等へ情報の提供を行う取組です。

文部科学省『学校ネットパトロールに関する取組事例・資料集(教育委員会等向け)』より引用

学校ネットパトロールの効果を高めるためには、 教育委員会・学校・民間企業などの連携がカギとなります。

学校ネットパトロール 実施例



子どもたちのインターネットの利用実態を把握した上で、
情報モラル教育を推進しましょう。